

① 団地型、大規模(築40年超)	② 単棟型、中規模(築1年未満)	③ 単棟型、小規模(築40年超)
管理室での決済金額の用途別の割合は？	その後、電子決済の利用状況は？	直近の利用状況は？
来客用駐車場が6割、集会室が4割程度。集会室は団体での利用が多く、集金した現金で決済するケースが多い。	その後もかわりない。月20件程度。クレカ9割、電子マネー1割。銀聯カードの利用なし。	11月は3件。平均すると週1件程度。役員による利用がないため、利便性について良く理解されていないと思われる。現状では、一部の方に偏った利用になっている。
電子決済の利用割合が低い要因は？	事業の推進にあたって直面した課題	事業の推進にあたって直面した課題
利用者の談として「クレジットカードだと、決済内容の確認が煩わしい」とのことだった。管理室窓口に申込み手続きに来られた際に電子決済を勧めているが、概して抵抗感があるようで現金決済される方が殆ど。	導入時の労力、発生する経費処理等のイレギュラー処理。	今回、誤入金はなかったが、返金が発生する場合は後日振込みにより返金。
電子決済の推進に向けての課題は？	管理員の代行者が端末を操作することは？	今回の端末ではクレジットカードが使えない。
大きくはコスト面(イニシャル・ランニングの両方)の負担、現金決済のニーズが根強いことがあげられる。また、広く展開していくためには、決済端末と会計システムとの連動が課題となり、決済事業者との調整等も必要となる。現状では、現金取り扱いの少ない小規模マンションまで押し並べて電子決済を導入することは難しいと考えている。	不慣れな人間が触ることによる誤操作の危険性はある。本マンションでは、代行者は取り扱わない対応を継続している。	事務処理面での負担は？
	居住者にとってのメリットは？	事務面の大きな負担増は感じていない。但し、明細がわからないため、別に控えをメモしておき、帳簿との突き合わせが必要。
	居住者の言葉として具体的にあったのは「ポイントがついてよい」ということ。全体的な意向はアンケート結果に表れていると思われる。	今後の機器の利用について？
	外部の方の利用は？	ランニングコストの問題あり。管理組合としても利用状況が少ない現状では、使い続けるのは難しい。
	居住者が利用申込み手続きをするルールなので、外部の方の直接利用はない。	

① 団地型、大規模(築40年超)	② 単棟型、中規模(築1年未満)	③ 単棟型、小規模(築40年超)
管理室での現金の取り扱いは、紛失・盗難のリスクが伴うため、キャッシュレス化を推進している。当マンション以外でも、電子決済端末を設置したマンションはあるが、まだ試験的な段階。当マンションの現金取り扱いは毎月20~30万円と多いため、キャッシュレスを推進したいマンションと捉えている。	居住者による申込みながら、リフォーム業者のものらしき車がとめられることはある(ルール上はOK)。	
【役員コメント】	アンケート結果について	
当マンションで電子決済の利用が広まらないのは、居住者の年齢層が高いことが大きな要因と思われる。現役世代でないと収入も限られるため、クレジットカードのように預金口座から引き去られる仕組みだと残高に不安を感じるのではないかと。そうした心の負担を考えると、手持ちの現金で決済する方が安心なのだろう。プリペイド式であればその点はクリアできるように思う。	利用者はほぼ特定の居住者なので、よく利用する方は、導入に肯定的な意見のアンケートを提出されているように見受けられる。17/123件(提出率14%)という提出数については、利用したことがない方や、関心のない方は、アンケートを提出する動機がないと推測される。ちなみに、全く別件で実施したアンケートでは、もう少し提出率が高かった。	
	カード決済の継続について	
	現金を管理室で扱うことはリスクと認識している。効率化を図りたいと考えている。本マンションの理事会としては、組合の費用負担でも継続してよいとの意向(コスト3万円/年、利用料年12万円/年の前提で)。今後のメニュー拡充については、本マンションでは来客用駐車場以外には決済の対象になるメニューがないので考えていない。	